

かえる便り 30年度6号

平成30年5月10日

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

“守る”とは、宮殿などを手で守る意味を表します。自分の“大切なもの”を人から奪われないようにすることです。サッカー選手にとってボールは宝です。その宝を奪われないようにするために練習をしていますが、簡単なミスで失うことが多々あります。“勝つ（成功）”ためにはミスを減らすことが必要です。簡単に失わない努力をしていますか？

隣近所との土地の境界が明確でないと、必ずもめ事になり人間関係が悪くなります。数年前、隣家が家を建てるために我が家の境界ブロックを壊したことがあります。我が家の土地である証拠書類を専門業者に提示し、ミスを理解させ修復してもらいました。後味は大変悪いですね。



8年前、元都知事のI氏が尖閣諸島購入の寄付を募ったのは、国土・国益を守る強い気持ちがあったからです。凄い英断があったからこそ、国が動き国有地にしました。組織の大小に関わらず安心・安全を守るためには、決断と胆力が必要です。学校は“生徒を伸ばす場”です。健やかな成長には、安全・安心が不可欠です。サッカーも同じ、反則をしない！

止める・蹴るという技術に“これで十分”ということはありません。状況に応じたタッチやパスの使い分けを指示しますが、プレー場面は刻々と変化します。変化する状況の中で仲間を助けるパス・タッチは、どうあるべきかを真剣に考え練習しているでしょうか？安易なボールの失い方をすると皆のベクトルが180度変わります。これを繰り返すと体力を消耗してしまいます。チーム戦術上失ってもよい状況であれば、ベクトルを大きく変えることもなく素早く守備をすることが可能です。

失点の多くはミスです。ミス原因を追究し克服する努力を一人ひとりがしているか、自分自身と真剣に向き合っているか、欲しいものです。失敗のまま終わるか、失敗から学び成功させるかの違いは、諦めない心です。人に言われて失敗原因を考える人は、絶対に伸びない!!そのような人は、同じミスを繰り返します。親や教師から 教えられ 自ら育つ それが教育です。自ら育つ努力ができる人は、ミスが少ないよ!!